

4. 届 出 様 式

様式第1（第3条関係）特定施設設置（使用、変更）届出書

様式第2の2（第3条関係）排出水の排水系統別の汚染状態及び量の届出書

様式第5（第7条関係）氏名等変更届出書

様式第6（第7条関係）特定施設使用廃止届出書

様式第7（第8条関係）承継届出書

様式第8（第9条関係）水質測定記録表

様式第11号（第14条の2関係）事故時の措置に係る届出書

参考様式 委任状

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（使用、変更）届出書

年 月 日

千葉県知事

殿

届出者

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）の規定により、特定施設（有害物質貯蔵指定施設）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称			※整理番号	
工場又は事業場の所在地			※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類の種類		※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

(参考)

届出担当者連絡先	標準産業分類
所属・氏名： ----- 所在地：(〒) 電話： F A X : E-mail：	

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
型式		
構造		
主要寸法		
能力		
配置		
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考と なるべき事項		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特 定 施 設 の 設 備

工場又は事業場における施設 番号		
特定施設番号及び名称		
設 備		
構 造		
主 要 寸 法		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

(参考)

点検頻度・項目等		
----------	--	--

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号					
特定施設番号及び名称					
設置場所					
操業の系統					
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量					
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

(参考)

特定施設で、使用・製造・処理する有害物質		
----------------------	--	--

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事着手予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事完成予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号					
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

排水の排水系統別の汚染状態及び量

指定項目の別											
業種 その他 の区分	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)						汚濁負荷量 (kg/日)		※
	通常	最大	通常	最大	Q _{co} Q _{ci} Q _{cj}			通常	最大		
					Q _{co}	Q _{ci}	Q _{cj}				
特定排水											
合計											
種類 及び 用途	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)						
	通常	最大	通常	最大	通常	最大					
特定排水以外の排水											
合計											
その他参考となるべき事項											

備考

- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
- 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
- 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{no}」と、「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
- 4 リン含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{po}」と、「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
- 5 ※印の欄には記載しないこと。

用 水 及 び 排 水 の 系 統

用水及び排水の系統			
	用 途 別 用 水 使 用 量	用 途	使 用 水

有害物質使用特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
型式		
構造		
主要寸法		
能力		
配置		
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号					
特定施設番号番号名称及び名					
設置場所					
操業の系統					
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量					
汚水等の汚染状態	種類	通常	最大	通常	最大
汚水等の量 (m^3 /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事着手予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事完成予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
その他参考と なるべき事項									

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

特定地下浸透水の浸透の方法

浸透施設の位置									
浸透施設の数									
浸透 水	工場又は事業場における施設番号								
	量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項									

特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統

用水及び排水の系統			
	用 途 別 用 水 使 用 量	用 途	使 用 水

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号		
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
床 面 及 び 周 囲		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号		
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別		
設 備		
構 造		
主 要 寸 法		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

(参考)

点検頻度・項目等		
----------	--	--

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別		
設 置 場 所		
操 業 の 系 統		
使 用 時 間 間 隔		
1 日 当 た り の 使 用 時 間		
使 用 の 季 節 的 変 動		
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量(有害物質使用特定施設の場合に限る。)		
貯蔵する有害物質の種類(有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)		
その他参考となるべき事項		

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

(参考)

特定施設で、使用・製造・処理する有害物質		
----------------------	--	--

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

<p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</p>			
<p>用途別用水量</p>	<p>用途</p>	<p>使用水</p>	<p>用水量(m³/日)</p>

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水量の欄には記載しないこと。

1. 事業場平面図

(第1図)

(特定施設、処理施設の設置場所、集水及び導水の方法、排出水の排出方法)

2. 特定施設を含む操業の系統図

(第2図)

3. 汚水等の処理の系統図及び処理施設の主要寸法

(第3図)

4. 事業場の位置及び排出水が主たる

(第4図)

公共用水域へ至るまでの経路

有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設の構造基準等の確認表

施設名称:

施設番号:

事業場名:

対象	構造等に関する基準			対応状況 (○・×)	達成した基準	定期点検の方法		
	基準	区分1	区分2 内容			項目	頻度	基準
床面および周囲	A	1	以下のいずれにも該当			①床面のひび割れ・被覆の損傷 ②防液堤のひび割れ	①1回/年 ②1回/年	A
			イ 床面は、コンクリート、タイルその他の不浸透性を有する材料による構造					
			ロ 防液堤、側溝、ためます若しくはステンレス鋼の受皿又はこれらと同等以上の機能を有する装置(以下「防液堤等」という。)の設置					
		2	上記と同等の措置			措置に応じた項目	措置に応じた内容	A
		3	床下が目視で点検できる			床下を目視点検	1回/月	A
	B	1	以下のいずれにも該当			①床面のひび割れ・被覆の損傷 ②防液堤のひび割れ	①1回/年 ②1回/年	B
			イ ・床面は、コンクリート、タイルその他の不浸透性を有する材料による構造 ・本体下部は接地しているなど目視点検できない構造で、材質もA基準を満たさない ・「防液堤等」の設置					
		ロ 本体からの漏洩を検知できる装置の設置又は同等以上の措置						
	2	・床面は、コンクリート、タイルその他の不浸透性を有する材料による構造 ・本体下部は前述の基準は満たさないが、目視点検は可能 ・「防液堤等」の設置		①床面のひび割れ・被覆の損傷 ②防液堤のひび割れ	①1回/年 ②1回/年	B		
	C	上記基準は満たさない		①床面のひび割れ・被覆の損傷	①1回/月	C		
施設本体	(本体に構造基準はないが、「床面および周囲」の基準が点検の基準に適用される)				【施設下部の床面がA基準】	①1回/年 ②1回/年	A	
					【施設下部の床面がB基準】	①1回/年 ②1回/月(同等以上の方法は適切な回数)	B	

(注)A基準:新設基準、B基準:既設の基準、C基準:既設であって構造基準適用猶予中の基準。(環境省令・マニュアルによる)

【備考欄】

・「同等以上の措置」等を選択した場合、その内容と内容に応じた点検回数を記載する。ほか、例外等が適用された場合もその内容を記載する。

有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設の構造基準等の確認表

施設名称:		施設番号:		事業場名:				
対象	構造等に関する基準			対応状況 (○・×)	達成した基準	定期点検の方法		
	基準	区分1	区分2			内容	項目	頻度
配管等 (地)	A	1		以下のいずれかに該当		①配管等のひび割れ・亀裂・損傷 ②配管等からの漏洩の有無	①1回/年 ②1回/年	A
			イ	必要な強度があり、有害物質で劣化する恐れのない材質で、外面は腐食防止措置が施されている。				
	ロ	床面より離れて設置され、漏洩が目視で点検できること。						
	B	1		漏洩が目視で点検できること。		①配管等のひび割れ・亀裂・損傷 ②配管等からの漏洩の有無	①1回/6カ月 ②1回/6カ月	BC
	C			上記基準は満たさない				
配管等 (地下配管)	A	1		以下のいずれかに該当		①配管等のひび割れ・亀裂・損傷 ②配管等からの漏洩の有無 ③トレンチ内壁のひび割れ・被覆の損傷	①1回/年 ②1回/年 ③1回/年	A
			イ	トレンチ内に設置され、トレンチの床・側面の材質が不透性を有し、トレンチの底面が必要に応じて耐薬品性及び不透性を有する材質で被覆されていること				
			ロ	必要な強度があり、有害物質で劣化する恐れのない材質で、外面は腐食防止措置が施されている。				
		ハ		上記と同等の措置		配管等の内部の気体の圧力若しくは水の水位の変動の確認又はこれと同等以上の方法	1回/年(※)例外があるため条文参照	A
		措置に応じた項目			措置に応じた内容	A		
	B	1		以下のいずれかに該当		①配管等のひび割れ・亀裂・損傷 ②配管等からの漏洩の有無 ③トレンチ内壁のひび割れ・被覆の損傷	①1回/6カ月 ②1回/6カ月 ③1回/6カ月	B
			イ	トレンチ内に設置されていること				
ロ			漏洩を検知できる装置の設置や配管等の流量の変化を検出する装置の設置					
	ハ		上記と同等の措置		配管等からの漏洩の有無	1回/月。濃度測定で確認を行う場合は1回/3カ月	B	
	措置に応じた項目			措置に応じた内容	B			
	C			上記基準は満たさない		配管等の内部の気体の圧力若しくは水の水位の変動の確認又はこれと同等以上の方法	1回/年(同等以上の方法は適切な回数)	C
排水溝等	A	1		必要な強度があり、有害物質で劣化する恐れがなく、必要に応じて耐薬品性及び不透性を有する材質で被覆されていること		排水溝等のひび割れ、被覆の損傷その他の異常の有無	1回/年(※)例外があるため条文参照	A
			2	上記と同等の措置				
		措置に応じた項目			措置に応じた内容	A		
	B	1		漏洩を検知できる装置の設置や排水溝等の流量の変化を検出する装置の設置		①排水溝等のひび割れ・被覆の損傷 ②排水溝等からの地下浸透の有無	①1回/6カ月 ②1回/月。濃度測定で確認を行う場合は1回/3カ月	B
			2	上記と同等の措置				
	措置に応じた項目			措置に応じた内容	B			
	C			上記基準は満たさない		①排水溝等のひび割れ・被覆の損傷 ②水位の変動の確認による漏洩の有無等	①1回/月(※) ②1回/年(※)例外があるため条文参照	C

(注) A基準:新設基準、B基準:既設の基準、C基準:既設であって構造基準適用猶予中の基準。(環境省令・マニュアルによる)

【備考欄】
 ・「同等以上の措置」等を選択した場合、その内容と内容に応じた点検回数を記載する。ほか、例外等が適用された場合もその内容を記載する。

有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設の構造基準等の確認表

施設名称:		施設番号:		事業場名:								
対象	構造等に関する基準			対応状況 (○・×)	達成した基準	定期点検の方法						
	基準	区分1	区分2			内容	項目	頻度	基準			
地下貯蔵施設	A	1	以下のいずれにも該当		/	地下貯蔵施設の内部の気体の圧力若しくは水の水位の変動の確認又はこれと同等以上の方法	1回/年(同等以上の方法は適切な回数)	A				
			イ	タンク室内に設置や2重構造等								
			ロ	施設外面に防食措置								
			ハ	貯蔵施設内の水量を確認できる装置の設置等								
		2	上記と同等の措置					措置に応じた項目	措置に応じた内容	A		
	B	1	以下のいずれにも該当				/	地下貯蔵施設からの漏洩の有無	1回/月。濃度測定で確認を行う場合は1回/3カ月	B		
			イ	貯蔵施設内の水量を確認できる装置の設置等								
			ロ	漏洩を検知できる装置の設置や貯蔵施設における流量の変化を検出する装置の設置等								
			2	以下のいずれにも該当					地下貯蔵施設の内部の気体の圧力若しくは水の水位の変動の確認又はこれと同等以上の方法	1回/年(同等以上の方法は適切な回数)	B	
		イ		貯蔵施設内の水量を確認できる装置の設置等								
		ロ		貯蔵施設内面にコーティングが施されていること								
		3	上記と同等の措置				措置に応じた項目	措置に応じた内容	B			
C		上記基準は満たさない			地下貯蔵施設の内部の気体の圧力若しくは水の水位の変動の確認又はこれと同等以上の方法	1回/年(同等以上の方法は適切な回数)	C					

(注) A基準: 新設基準、B基準: 既設の基準、C基準: 既設であって構造基準適用猶予中の基準。(環境省令・マニュアルによる)

【備考欄】

・「同等以上の措置」等を選択した場合、その内容と内容に応じた点検回数を記載する。ほか、例外等が適用された場合もその内容を記載する。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量の届出書

年 月 日

千葉県知事

殿

届出者

水質汚濁防止法第6条第3項の規定により、排水水の排水系統別の汚染状態及び量について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
△排水水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙のとおり。	※審査結果	
		※備考	

備考 1 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

2 ※印の欄には、記載しないこと。

3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

(参考)

届出担当者連絡先	
所属・氏名：	

所在地：(〒)	
電 話：	F A X：
E-mail：	

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

指定項目の別										
業種 その他の 区分	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
	通常	最大	通常	最大	Q _{co} Q _{ci} Q _{cj}			通常	最大	
					Q _{co}	Q _{ci}	Q _{cj}			
特定 排 出 水										
合計										
特定 排 出 水 以 外 の 排 出 水	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
	通常	最大	通常	最大	通常	最大				
合計										
その他 参考と なる べき 事項										

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{no}」と、「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{po}」と、「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

氏名等変更届出書

年 月 日

千葉県知事

殿

届出者

氏名（名称、住所、所在地）に変更があったので、水質汚濁防止法第10条の規定により、次のとおり届け出ます。

変更の内容	変更前		* 整理番号	
	変更後		* 受理年月日	年 月 日
変更年月日		年 月 日	* 施設番号	
変更の理由			* 備考	

- 備考 1 *印の欄には、記載しないこと。
2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

(参考)

届出担当者連絡先	
所属・氏名：	

所在地：(〒)	
電話：	FAX：
E-mail：	

様式第6（第7条関係）

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）使用廃止届出書

年 月 日

千葉県知事

殿

届出者

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用を廃止したので、水質汚濁防止法第10条の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		* 整理番号	
工場又は事業場の所在地		* 受理年月日	年 月 日
特定施設の種類		* 施設番号	
特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所		* 備考	
使用廃止の年月日	年 月 日		
使用廃止の理由			

- 備考 1 水質汚濁防止法第5条第3項の規定による届出のあつた施設の使用廃止の届出である場合には、特定施設の種類欄には記載しないこと。
2 *印の欄には、記載しないこと。
3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

(参考)

届出担当者連絡先	
所属・氏名：	
所在地：(〒)	
電話：	FAX：
E-mail：	

様式第7（第8条関係）

承 継 届 出 書

年 月 日

千葉県知事

殿

届出者

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）に係る届出者の地位を承継したので、水質汚濁防止法第11条第3項の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		* 整理番号		
工場又は事業場の所在地		* 受理年月日	年 月 日	
特定施設の種 類		* 施設番号		
特定施設又は有害物質貯蔵 指定施設の設置場所		* 備 考		
承 継 の 年 月 日				年 月 日
被承継者	氏名又は名称			
	住 所			
承 継 の 原 因				

- 備考 1 水質汚濁防止法第5条第3項の規定による届出のあつた施設の承継の届出である場合には、特定施設の種類の欄には記載しないこと。
 2 *印の欄には、記載しないこと。
 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

(参考)

届出担当者連絡先	
所属・氏名：	

所在地：(〒)	
電 話：	F A X :
E-mail：	

水 質 測 定 記 録 表

排水水の汚染状態（特定地下浸透水の汚染状態）

測定年月日 及び時刻	測定場所		特定施設 の 使用状況	採 水 者	分 析 者	測 定 項 目					備 考	
	名 称	排水量 (m ³ /日)										

- 備考 1 採水の年月日と分析の年月日が異なる場合には、備考欄にこれを明示すること。
 2 排水水の汚染状態及び特定地下浸透水の汚染状態は、分けて記載すること。

事故時の措置に係る届出書

年 月 日

千葉県知事

殿

届出者

水質汚濁防止法第14条の2の規定により事故の状況等について、次のとおり届出ます。

工場又は事業場の名称	
工場又は事業場の所在地	
特定施設の種 類	
△ 事 故 の 状 況	別紙のとおり
△ 講 じ た 措 置	別紙のとおり
事故処理担当部課名 及び担当責任者氏名 (電 話 番 号)	

備考 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り図面、表等を利用すること。

1 事故の状況別紙

イ 事故の発生日時・発生場所・発生施設名

事故の発生日時	年 月 日 時 分
事故の発生場所	
事故の発生施設名	

ロ 事故により公共用水域に排出され、又は地下浸透した有害物質、指定物質、油又は排水基準を満たさない水の種類及び量並びに排出先

有害物質等の種類	
有害物質等の排出量	
有害物質等の排出先	

ハ 有害物質、指定物質、油又は排水基準を満たさない水に係る事故発生施設から公共用水域に排出され、又は地下に浸透した所までの経路

ニ 人の健康又は生活環境に係る被害状況

	人の健康	生活環境	備考
被害状況			

ホ 事故の原因

2 講じた措置

イ 措置の完了日時 年 月 日 時 分

ロ 措置の内容

ハ 措置の結果

ニ 有害物質、指定物質、油又は排水基準を満たさない水が流入した公共用水域、又は地下水の調査状況（水質その他）

3 その他事故状況、講じた措置等について参考となるべき事項

* 添付図書

- 1 事故により公共用水域へ排出された有害物質、指定物質、油又は排水基準を満たさない水の流路を示した地図
- 2 事故発生施設から公共用水域（地下浸透を含む）までの事業場内の有害物質、指定物質、油又は排水基準を満たさない水の流路
（事業場平面図に明示）
- 3 事故発生施設の構造図
- 4 講じた措置の概要を示す図
- 5 下水道法で届出している場合はその写し

(参考様式)

委 任 状

私は、
を代理人と定め、下記の権限を委任します。

記

における水質汚濁防止法に関する届出の権限

年 月 日

住 所 〒

会 社 名

代表者名